

**【健康長寿フェア2023】**  
開催日変更のお知らせ  
10月9日(月曜・祝日)から**10月8日**(日曜)に変更となりました。  
会場は、同じ九州大学医学部百年講堂(福岡市東区)です。よろしくお願いいたします。(事務局)

# 人生百年時代ジャーナル

「人生100年時代」を生き抜く医療健康情報紙

発行：元気100俱楽部  
〒812-0027  
福岡市博多区下川端町3-1  
博多リバーサイドモール地下2階  
「博多養生処」(博多サロモン)  
電話 092-282-6001  
FAX 092-282-6002

# 元気100歳をめざして挑戦しよう

—— 健康と食事、フレイル防止、会長が実践する健康法など紹介 ——

## 老化促進物質「AGES」を抑える

- ①調理によってAGESの量は変わる  
卵の場合：目玉焼きよりゆで卵、オムレツなどに
- ②なるべく高温加熱では揚げない・焼かない  
ゆでる、煮る、蒸す、レンジで加熱
- ③AGESを抑える「カルノシン」が豊富な  
食材を摂る  
鶏のむね肉をメインのおかずに
- ④同「ビタミンB1」が豊富な食材を摂る  
豚肉、レバー、鶏肉など
- ⑤同「ビタミンB6」が豊富な食材を摂る  
カツオ、マグロ、サーモン、にんにくなど
- ⑥同「αリポ酸」が豊富な食材を摂る  
葉もの野菜、トマトなど
- ⑦同「ポリフェノール」が豊富な食材を摂る  
ブルーベリー、ココア、納豆（大豆製品）

## 身体機能維持に “タンパク質”を摂ろう

1日に必要なタンパク質の計算  
(体重60kgの人なら60gでOK)

1日60gのタンパク質を摂るには？

- 例1 肉150g+卵2個+豆腐半丁
- 例2 肉200g+卵2個
- 例3 肉100g+卵4個 など

含まれる  
タンパク質の目安

肉 100g=20g  
卵 1 個=10g  
豆腐半丁=10g

※納豆、サバの水煮缶などもおすすめ

日本人の平均寿命と  
健康寿命を比較すると、  
男性は約9年、女性は  
約12年と差があり、男  
性とともに10年前後の  
「要介護」の期間があ  
ります。この差をいか  
に縮めるかが今後の課  
題です。

「元気で長生き」す

細胞の老化を促進す  
るためには、老化を予  
防し健康寿命を延ばす  
ことです。食事・運動  
をきちんとしないと、  
老化は進行でいきます。

老化は血管から始まり、  
全身に広がるため、(1)  
運動 (2)血管をゆるめ  
る（自律神経を整える  
呼吸・睡眠・入浴）  
がポイントです。

## 老化は血管から始まり 全身へ広がります !!

### ●毛細血管の老化

全血管の約99%は毛細血管で、血管の細胞の入れ替わりがうまくいかなくなると、血管の劣化が進みます。最後には血管に血が通わなくなるゴースト化が起きて血管が消滅します。

### ●動脈の老化

生活習慣などの影響で血管がしなやかさを失うと、血管が硬く狭くなり、動脈硬化が起きます。さらに進むと血管が詰まり破裂。心筋梗塞や脳梗塞などを発症します。



原 寛会長

「元気100俱楽部」の令和5年新年例会が、1月8日(日)に福岡市・天神で開かれました。原寛会長が「元気100歳への挑戦・防止、会長自身が日々実践する健康法など、わかりやすく解説されました。講演の後は会員による歌やフラダンスなどが披露され、華やかな新年例会となりました。(2・4面に開連記事と資料)

## 90歳・原 寛会長が1月例会で講演

※この紙面は、白いほどわかる老化的新常識【根来秀行】著、「私が実践する元気で長生きする方法【原寛著】」などを参考に作成しました。

私たち、「福岡100」を応援します！



「元気100俱楽部」は、人生100年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく暮らせる持続可能な社会の実現を目指す福岡市のプロジェクト「福岡100」の取り組みを応援するパートナーです。

## フレイル(虚弱)

加齢によって運動機能や認知機能などが低下し、健康障害を起こしやすくなった状態。

- 食べる量が減ってきた
- 筋力が弱くなった
- 歩く速度が遅くなった
- 体重が減った
- 疲れやすくなった
- 外出が億劫になった

このようなことはありませんか？

私が日々実践してい  
ます。

て若さを維持しまし  
ょ。もご紹介していま  
すので、参考にしてく  
ださ

## 私が実践している食事・運動法

- 食事**
- ①サラダなど生野菜を最初に食べてある程度お腹を満たします
  - ②牛乳、みそ汁はタンパク質・ビタミン・ミネラルが豊富なので必ず摂ります
  - ③おかずは肉、魚にかかわらず、タンパク質を多く摂ります。納豆・卵は安く、栄養豊富なので欠かしません
  - ④ご飯は白米を避けて、食事の最後に麦や五穀米などを少量食べます

- 運動**
- ①毎日歩く：1日8,000~10,000歩程度
  - ②エスカレーターなどは利用せず階段を使う
  - ③長時間座っていないで、30分に1回立ち上がる
  - ④自宅でできる下半身運動（2面）

※東京都健康長寿医療センター研究所の資料によると、毎日7,000歩から8,000歩を歩き、15~20分の運動をすることで、動脈硬化、がん、骨粗しょう症、サルコペニア（筋減少症）、高血圧症、糖尿病、メタボなどの病気が予防できます。

## 健康と食事 増えすぎた活性酸素を除去

### 「抗酸化物質」を 積極的に食べて若さを維持！

#### 毎日食べたい抗酸化食材



# 私が実践している「自宅でできる下半身運動」をご紹介

## 背中を壁につけた姿勢で太ももに負荷をかける



※ 最初から無理をしないこと。  
腰を落としても安全な場所で。  
初めての方は、サポートしてくれる人がいる時に行いましょう。

## 椅子に座った姿勢でお尻を浮かせて数秒キープ



## 椅子を使って片足で立つ



※ バランスを崩しやすいので、壁や手すりに手をかけるなど注意を。  
初めての方は、サポートしてくれる人がいる時に行いましょう。

## 椅子に座った姿勢で足を浮かす



## 「人の身は父母を本(もと)とし、天地を初(はじめ)とす」



### ～命は授かりもの～

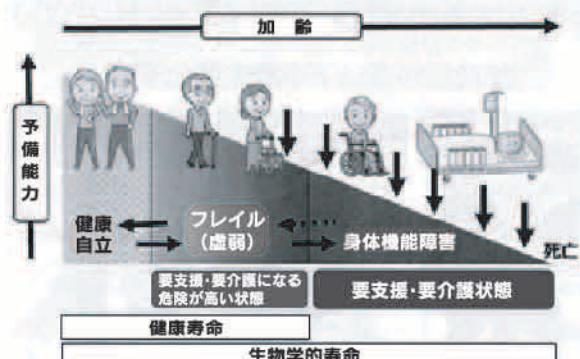
人のからだは父母をもととし、天地をはじめとしたものである。天地・父母の恵みを受けて生まれ、また養われた自分のからだであるから、私のもののようにあるが、けつして私だけのものではない。天地の賜物であり、父母がのこされたからだであるから、慎んよく養い、いためたりこわしたりしないで、天寿を長くともつようにしなければいけない。

貝原益軒「養生訓」より

## 病気の早期発見、早期治療が大切



## フレイルモデル







元気に1年間を過ごせるよう願つて記念撮影  
ん、丸山孝一さん、岩  
ンサーズ（永瀬郁子さ  
く優雅に踊る姿で会場  
て、手先足先まで美し  
く魅了していました。  
そして、ドリームダ

1月8日(日)に開かれた「元気100俱楽部」の新年例会は、新型コロナ感染の影響で今年も宴会は控えましたが、日頃より歌やダンスをしておられる会員の方のご披露に、明るい気持ちになり元気をいたしました。



フラダンスの増田志津子さん

## 新年例会 華やかに



ドリームダンサーズの皆さんによる軽やかなステップ



歌手の立花ゆう子さん

### 自分史づくり お手伝いします

- 毎月第2・第4水曜日
- 博多養生処 11時~14時

定番の自分史（人生回顧）から、家族のエピソード、思い出のアルバム、趣味の作品集、旅行・登山の記録など、形はさまざまです。個人に合った自分史づくりをアドバイスします。相談は無料です。《要予約》電話でご予約ください。

担当:本島 090-1165-8944  
(会報新聞「人生百年時代ジャーナル」編集長)

まず初めに、歌手で会員の立花ゆう子さん  
が、持ち歌の「夢太鼓」と、「津輕慕情」  
を歌唱。立花さんは詩吟の師範でもあり、  
ひやかなか力強い歌声が会場に響き渡りま  
た。次に、フラダンスの増田志津子さん。  
ふりの参加でしたが、お色直しを挟み「ラブ  
クレ」と「アロハウ  
ライト」と「アロハウ  
ライ」の音楽に乗せて、手先足先まで美しく  
魅了していました。そして、ドリームダ

田久子さん、山口嘉代子さん、淵脇ハツ子さ  
んの皆さんです。下  
り野郎」の曲で歌とダンスを披露。丸山さん  
の張りのある歌声、皆さんの優雅なダンス、  
指導者永瀬さんの切れあるダンスと会場を  
おどこして下さい。

ワクワクと楽しめます

した。

最後に、今年は卯

年。元気に飛び跳ね飛

躍の年になることを願

いつ、恒例の「百歳

音頭」の総踊りで例会

を終えました。会員の



### 「元気100俱楽部」活動一覧 (2023年3月現在)

「元気100俱楽部 活動」【問合せ】本部事務局 092-691-6531(原土井病院内)

支部活動名	開催日	会場	内容
定例会	奇数月 第2日曜日 10:00~12:00	天神周辺 (随時案内送付)	講師による講話もあり、会員が集い学び合う交流の場 会費 : 案内参照
健康元気の会	偶数月 第3日曜日 10:50~12:30	博多養生処 (随時案内送付)	健康、運動、食事について学び実践する会 参加費 : 500円
患者ボランティア(VP) の会	不定期	大学病院、看護学校他の 依頼元が指定する場所	医療、看護、介護等の教育現場において、患者役として協 力するボランティア活動
患者ボランティア(VP) 連絡会	奇数月 第3火曜日 11:00~12:30	博多養生処	患者ボランティアの会の勉強会 及び 情報交換会
樹人千年の会	不定期	名子の山(東区)	荒れた土地に植樹し自然に返す活動を行う会
能古島散策	4月	能古博物館周辺	能古博物館の見学やお花見等、能古島の歴史を学び自然 を楽しむ会員の交流会
元気100俱楽部 フォーラム	年1~2回	福岡市内のホール	生活習慣を改善し健康長寿を全うするための情報を得る 健康イベント

「元気100俱楽部 サークル活動」【問合せ】博多サロン事務局 092-282-6001(博多養生処内)

(※)は要予約

サークル名	開催日	会場	内容
博多 おじやみの会	毎週 火曜日 11:00~14:00頃	博多養生処	脳の血流の増加や、活性化に効果があるといわれるおじやみ(お手玉)を会員が集い作っている。販売や寄付活動も行う。
博多まち歩き俱楽部 講師／松田一朗 (※)	奇数月 第2火曜日 14:00~15:30頃	博多養生処～博多のまち	博多の歴史を学んだ後に、実際にまち歩きを行う。 参加費 : 一般1,000円 会員800円
プレミアム KIMONO 着付け教室 講師／田中富美子 (※)	毎月 第4土曜日 ①13:00~14:55 ②15:05~17:00	博多養生処	自分でできる着物の着付けのポイントを学べる教室 都合に合わせて何回でも参加可能 (用意する物は申込時に説明 購入前の相談受可能 販売は無し) 参加費 : 1回につき500円 定員 : 各回5名 (要予約)
「新百人一首」かるた会 講師／小柳左門 (※)	偶数月 第3日曜日 13:00~14:00	博多養生処	毎回、「新百人一首」より抜粋した和歌を学び理解を深めた後、かるた会を行います。参加費:500円 定員:10名程
音読の会 講師／長村恵子 (※)	毎月 第4火曜日 13:30~14:30	博多養生処	詩や物語の音読を楽しむ会。脳活や口くう機能の改善効果も。参加費 : 500円

#### ★元気100俱楽部ホームページ

<https://www.genki100club.com/>

会の目的や活動の紹介、イベントのお知らせ、入会案内などが掲載されています。  
また人生百年時代ジャーナルのバックナンバーを見ることができます。

#### 元気100俱楽部 Facebookページ

<https://www.facebook.com/genki100club/>

イベントのお知らせ、活動の様子などが投稿されています。

昭和二十年、八月十五日

山から海まで、さえるもの一つない焼跡の上に、真夏の太陽が照りつけ、焼跡は、ただ見ると、赤茶けた荒野にすぎませんが、といって瓦礫ばかりでもない。電柱の焼け残りや便器、金庫、水道管、ベッドの枠、ミシンのおかま、金網入硝子、その他さまざまの残骸が土に埋つていて、それ等は、ここが決して砂漠、もどかの荒野ではない、つい近頃まで、人が住んでいたということを、懸命に主張しているように見えました。

焼跡の中の、そういった残酷なまきれで、一人の子供が、うすくまつてしました。年は五歳なんですが、その表情は老人のようにしぶんと、まつたく生氣がうかがえません。(中略)

子供の名は、カツちゃんといいました。カツちゃんは、この町が焼けてから今まで、空ばかり見上げて、じとうずくまつていました。二十年の夏は、晴れた日が続き、飛行機がさきりにとび交いましたが、そんなものは眼もくれず、カツちゃんは、空からきつともどつて来るにちがいなく、お母さんを待ちつづけていたのです。風に吹かれて、風のように舞い上がったお母さんを。

十日前に、カツちゃんとお母さんの住むこの町は空襲を受けました。少々建てこんでいるだけで、何の工場も、車の陣地もない住宅地なのですが、気まぐれにB29の落としていた焼夷弾で、たちまち燃え上がり、早く逃げれば、少しほなれた国民学校の校庭にたどりつけたのに、お母さんはついまごまごしていだのです。(中略)

道に、蛇の如く消火ポンプのホースが横たわり、バケツがころがり、直弾を受けたのか、男の人が死んでいました。いつのまにか、お母さんはカツちゃん横抱きにしていました。カツちゃんは息苦しがたけど、泣き言いつてる時

どうと投げ出されるように、地面に置かれて、カツちゃんがあたりを見まわすと、すい分走ったようでした。そこは家からすぐの、小さな公園といつても沙場とブランコだけしかない、カツちゃんのよく知っている遊び場でした。結局、十重二十重に火がかかるから、遠くへは逃げられなかつたのです。(中略)

焼ける音はますます凄まじく、公園をかこむ家並みには、まだ火は移っていますが、もう時間の問題とよぶ分かります。これだけ火の勢いが強いと、一ませんが、もう時間の問題とよぶ分かります。これだけ火の勢いが強いと、一軒一軒延焼して行くなんて生易しいものではなく、爆発するように燃え移ります。空気が段々と熱くなる具合が、吸う息でさえ感じられ、木立中の葉一枚と火が近くなつたらどうなるか、お母さんは、水を探しましたが、ありません。

お母さんは、はじめて怖くなりました。眼をつむついても、焰の色がはつきりわかります。「お父さん」お母さんは、戦地にいる御主人に呼びかけ、すると、お父さんのためにも、カツちゃんをこんなことで死なしてはいけない、何か方法があるはずだ。

# たこ 風になったお母さん

野坂 昭如 (1930-2015)

■のさか あきゆき 神奈川県生まれ。  
主な作品『火垂るの墓』『一九四五・夏・神戸』  
初出『婦人公論』1971年4月号  
初採録『中学校現代の国語 新版 3』  
(三省堂、1978年)  
底本『戦争童話集』(中公文庫、1980年)

胸に手をさし入れ、汗をすくい上げると、カツちゃんの顔にうつしました。ち

えなければならない。

だけど、どうすればいいのでしょうか、お母さんの体は、マッチ一本でたちまち燃え上がりそうに乾ききっているのです。お母さんはカツちゃんを抱きすくめ、

「もう少しの辛抱よ、我慢するんですよ」(中略)

やがて、お母さんの汗はつきました。もう水分がなくなってしまったのです。

もちろんつばきもできません。

「お母さん」カツちゃんは、お母さんに頼つていません。

「お母さん」カツちゃんは、お母さんによく、でも、時々、

「どんなことが起つたって丈夫だ、信じていましたが、でも、時々、

呼んでいないと、どこかへ行つちゃいそうな気がするのです。(中略)

この公園で、この砂場で、こんな風に火にかこまれるとは、誰が想像したでしょう。キヤツキヤツとはしゃぐ、もつと小さかつた頃のカツちゃんの声がきこえ、笑い声がうかび、気がつくと、お母さんの顔をおおう掌は、涙でぐつしょり濡れています。何も考えず、お母さんは濡れた掌を涙をカツちゃんの火照った顔にぬりつけました。そしたら涙があつたと、気がついたのは後からで、しばらくはほつておいても出て来るそれを、汗と同じようにし、しかし、そ

の作業にうちこむと、つい悲しみがうすれ、涙が出なくなります。(中略)

やがて涙も滲れ果てました。お母さんは、もう煙に傷ついて、眼が見えません。

でも、何とかして、カツちゃんの肌に水気を与えたい、土をかきむしってみても、カラカラにかわきつっています。お母さんは、胸をはだけ、自分の肌でカツちゃんの肌でカツちゃんの肌を守ろうとしました。すると甘えん坊で、つい去年まで、ひよいお母さんのおっぱいに吸いついていたカツちゃんは、半

ば無意識で、乳首をまさぐり、とたんにお母さんは、出るはずもないお乳をしほつてみようと、思い当たつたのです。(中略)

お母さんは、必死で乳房をもみ、カツちゃんを乳児のようににかかえて、吸わせました。少しでも出たら、カツちゃんが飲んでもいいし、また汗や涙と同じようにしてもいい。(中略)

お母さんは、カツちゃんの赤ん坊のあれこれを考え、考えるうち、もう体力が限界にきたのか、現在火にかこまれているのは嘘で、自分は、お父さんと一緒に、すやすやねむるカツちゃんの寝顔に見入っているような錯覚が起つて、熱さも感じなくなり、はつと氣づくと、カツちゃんは、頬をすばめむさぼるように、お乳をのんでいました。

カツちゃんは待ちました。お母さんはきっともどつて来る、お腹も減つたし、喉もかわいたけど、お母さんが風のように舞い上がつた所から一步もうこかず、うすくまつて待ちました。へつにさびしくはありません、いつも空の上でお母さんが見つってくれるよう思えました。お父さんが戦地へ出かける時に強いてになるんだよ」といつた言葉も、お母さんからきいて知っています。

八月十五日、終戦の詔勅が、焼跡の上を流れる少し前、カツちゃんの瘦せおとろえた体も、風に吹かれて、空に舞い上がりました。お母さんは迎えに来てくれたのです。まるで二つの風のよう、お母さんとカツちゃんは、真夏の太陽の輝く空いっぱいにはばたき舞いおどりながら、どんどん高く昇つていきました。焼跡をはるか下に見おろして。

ロシアによるウクライナ侵攻から丸1年が経ち、国内でも近隣諸国に対する防衛力増強の動きが目立つようになりました。私たち「元気100俱楽部」の前身である「新老人の会」の日野原重明会長の時代から、「戦争は二度と起こしてはならない」と、戦争体験を次世代に語り継ぐ活動を続けてきました。私自身も昭和20年(1945)6月19日の福岡大空襲を体験してしまつて、わしづかみにし、カツちゃんの体くまなくぬりまわします。しかし、お乳もやがてつきました。(中略)

「お母さん、熱いよ」カツちゃんは、ぐつたりしたお母さんにとりすがり、悲鳴をあげました。「お母さん、怖いよ」泣きさけぶその声に、お母さんは

我にかえり、考えるのは、ただ水、水つ氣のあるもの、それをカツちゃんに与えだんならこの上なく気持ちがわるいはずですが、お母さんはふと思いつき、

「お母さん、熱いよ」カツちゃんは、ぐつたりしたお母さんにとりすがり、悲鳴をあげました。「お母さん、怖いよ」泣きさけぶその声に、お母さんは

我にかえり、考えるのは、ただ水、水つ氣のあるもの、それをカツちゃんに与えだんならこの上なく気持ちがわるいはずですが、お母さんはふと思いつき、